

auAM Quantitative-ControlレバッジNASDAQ100

追加型投信／海外／株式／
特殊型(その他)

(愛称：Q レバナス)

NASDAQ
100
CONTROL
BULL
X1-3

※ファンド名称のauAMはauアセットマネジメントの略称です。

「第七期パフォーマンスについて」

作成日：2025年12月18日

- 当資料の内容は過去データを基にした結果を示すものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。
- お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

改めてQ レバナスの運用の仕組みについて解説します

運用戦略（レバッジコントロール）について

株価基調判断／機動的戦術



NASDAQ100の基調判断を実施。上昇(下降)基調局面ではリスク量を増幅(削減)することで、基準化ベンチマークを上回るプラス $[\alpha]$ のリターンの獲得をめざします。



各分野の技法を用いた機動的な売買で基準化ベンチマークを上回るプラス $[\alpha]$ のリターンの獲得をめざします。



レバッジ比率の調整

100%



200%



300%



※実際のレバッジ比率は、買建玉の時価総額の変動等により変動します。目標レバッジ比率には一定の変動許容幅を設けます。

Q レバナスでは、NASDAQ100 先物買建 200%のベース部分にクオンツによるアクティブ運用を加えて先物の組入ウェイトをコントロールしています。

この“アクティブ運用部分”では NASDAQ100 先物の組入ウェイトを-100%～100%でコントロールします。これはそれぞれアプローチの異なる【株価基調判断】と【機動的戦術】により決定されます。

このアクティブ運用部分（-100%～100%）と先物買建 200%のベース部分とあわせてレバレッジ比率 100%～300%で調整します。

基準価額の推移について

（前期決算日比 1,781 円のプラス）

図表 1 の網掛け部分は、当ファンド第七期決算期間（2025/8/23～2025/11/25）の基準価額の推移を示したものです。決算日（2025/11/25）基準価額は、13,175 円、前回決算日比 +1,781 円（第六期決算日 2025/8/22 基準価額 11,394 円）となりました。

【図表 1 基準価額推移（設定来（2024 年 3 月 22 日）～2025 年 11 月 25 日）】
(円)



「アルファ」の推移について（第七期アルファは 18 円の改善）

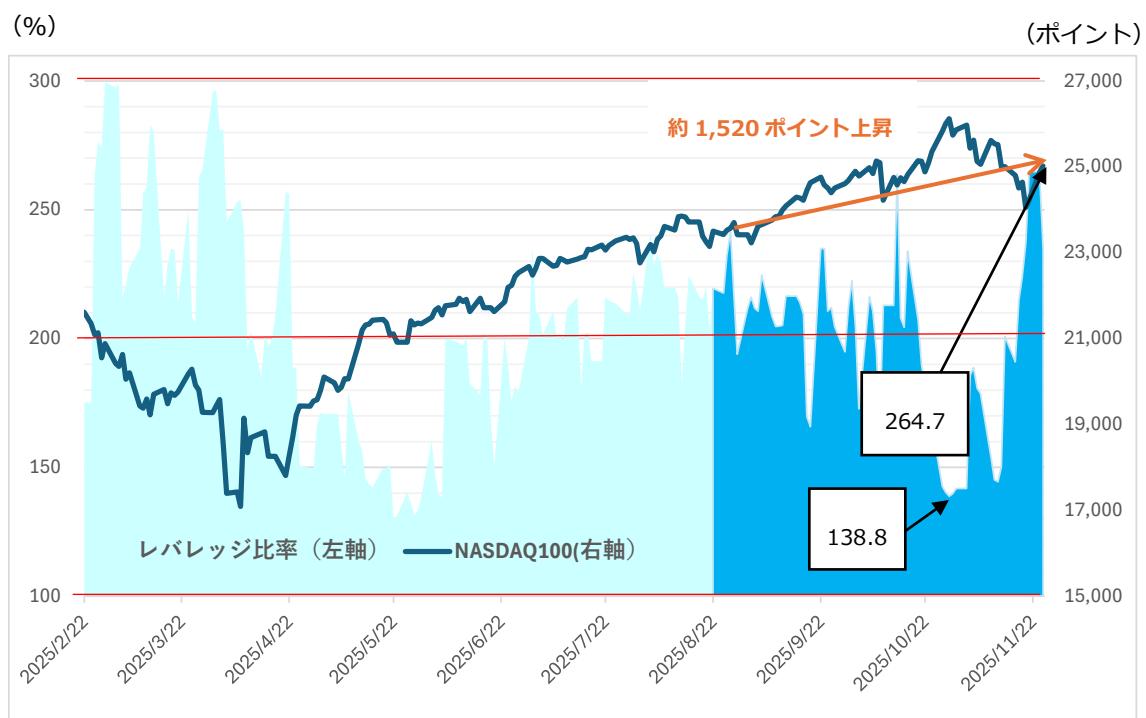
基準化ベンチマーク NASDAQ100 指数の 2 倍（円ヘッジベース）との比較

図表 2 は、当ファンドの第七期決算日（2025/11/25）までの基準価額と基準化ベンチマーク（NASDAQ100 指数の 2 倍（円ヘッジベース））との差「アルファ」（以降アルファと記載）の推移を示したもので。アルファは、前回決算時の▲1,887 円から▲1,869 円となり、18 円の改善、成功報酬は発生しませんでした。この間のレバレッジ比率の動きを図表 3 にお示ししております。

【図表 2 第七期 基準価額と基準化ベンチマークとの差（アルファ）の推移】



【図表 3 レバレッジ比率の推移】



第七期のレバレッジ比率とマーケットイベントの振り返り

10月下旬、NASDAQ100 指数はそれまでの緩やかな上昇トレンドを大きく上抜ける急激な価格上昇が発生しました。そうした中、モデルが慎重なシグナルを発したことから本ファンドはレバレッジ比率を低下させました。その後、株価が調整する過程でレバレッジ比率を引き上げたオペレーション等が奏功し、11月の株価反発局面ではアルファの改善につながりました。

今後も市場環境の変化に応じてモデルに基づいた機動的なレバレッジ調整を行い、投資家の皆さまの資産形成に貢献してまいります。

主なマーケットイベントとレバレッジ比率について説明します。

【マーケットイベント】

① 8月 22 日：FRB パウエル議長の利下げ示唆で株価急騰

FRB のパウエル議長が利下げの可能性を示唆したことが好感され、米株は全面高に。NASDAQ を含む主要株価指数は上昇しました。

【レバレッジ比率】8月中旬に 180%程度に引き下げていたレバレッジ比率を徐々に拡大し、8月下旬以降は概ね 200%を上回る水準で運営しました。

② 11月 10 日：政府機関閉鎖解消期待で米株反発

米連邦政府は 10月 1日～11月 12日までの 43 日間にわたり、予算成立の遅れで 政府機関閉鎖が続いていましたが、11月 9日～10日にかけて、米上院で政府再開に向けた暫定予算法案が可決、両院通過および大統領署名の可能性が大きく高まり、市場心理の改善につながりました。

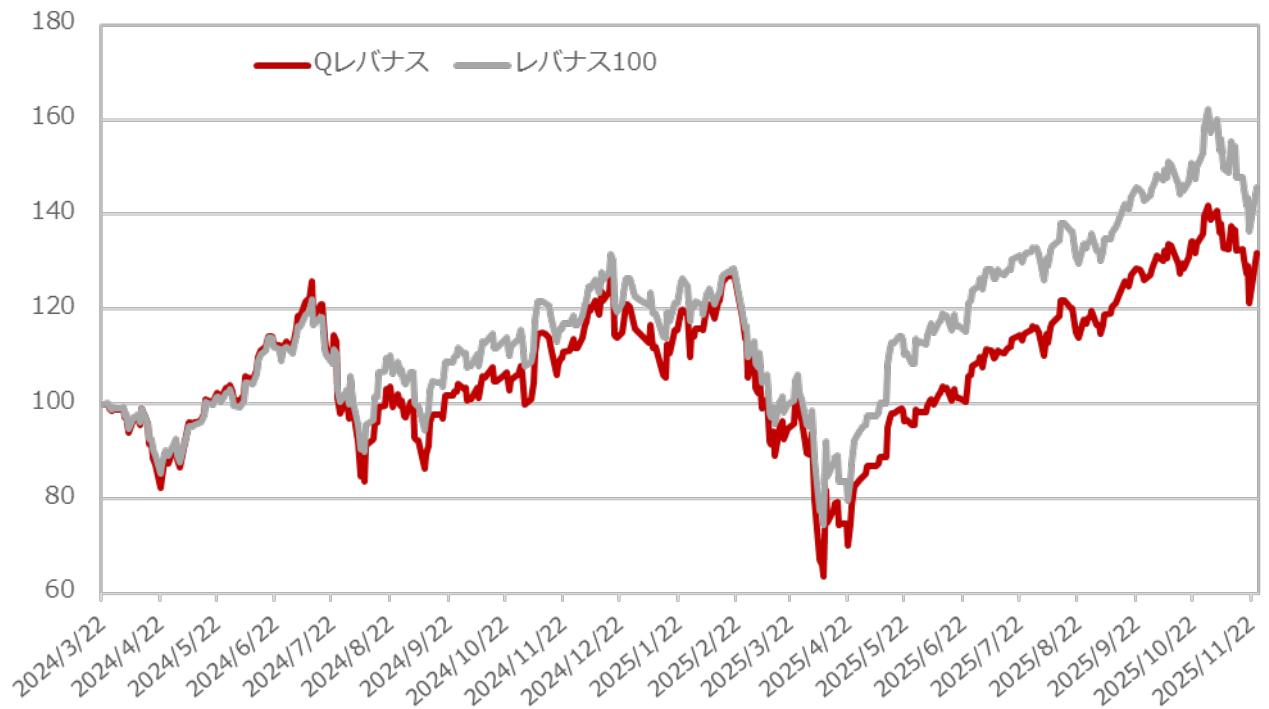
【レバレッジ比率】11月中旬は 150%程度の低い水準を維持し、株価が上昇する中で、レバレッジ比率を引き上げ 11月 21日に 264.74%へ。

当ファンド設定来の当社レバナス 100 との比較

当ファンドでは、種々の投資戦略を活用しながら、NASDAQ100 株価指数（米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることを目指したファンド（図表 4 の当社レバナス 100）より高いパフォーマンスをお客様にお返しできるよう、日々努めて参ります。（基準化ベンチマークとの比較とは異なりますが、投資家の皆様が普段見ていらっしゃいます当ファンド（図表 4 の Q レバナス）と当社 auAM レバレッジ NASDAQ100（図表 4 のレバナス 100）との比較グラフを下記にお示しします。成功報酬計算とは異なるものである点ご注意ください。）

【図表4 Q レバナス設定来の当社レバナス 100 との比較グラフ】

※2024/3/22 時点を 100 として指数化



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、au アセットマネジメント株式会社がファンドに関連する情報等をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。ファンドの取得の申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。
- Q レバナスの詳細情報（リスク・費用等を含む）につきましては、こちらのファンド詳細ページをご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料の記載内容は過去のデータによるシミュレーションであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、基準日時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料の写真やイラストはイメージとして掲載するものです。
- ファンド名称の auAM は au アセットマネジメントの略称です。